

1 総合計画とは

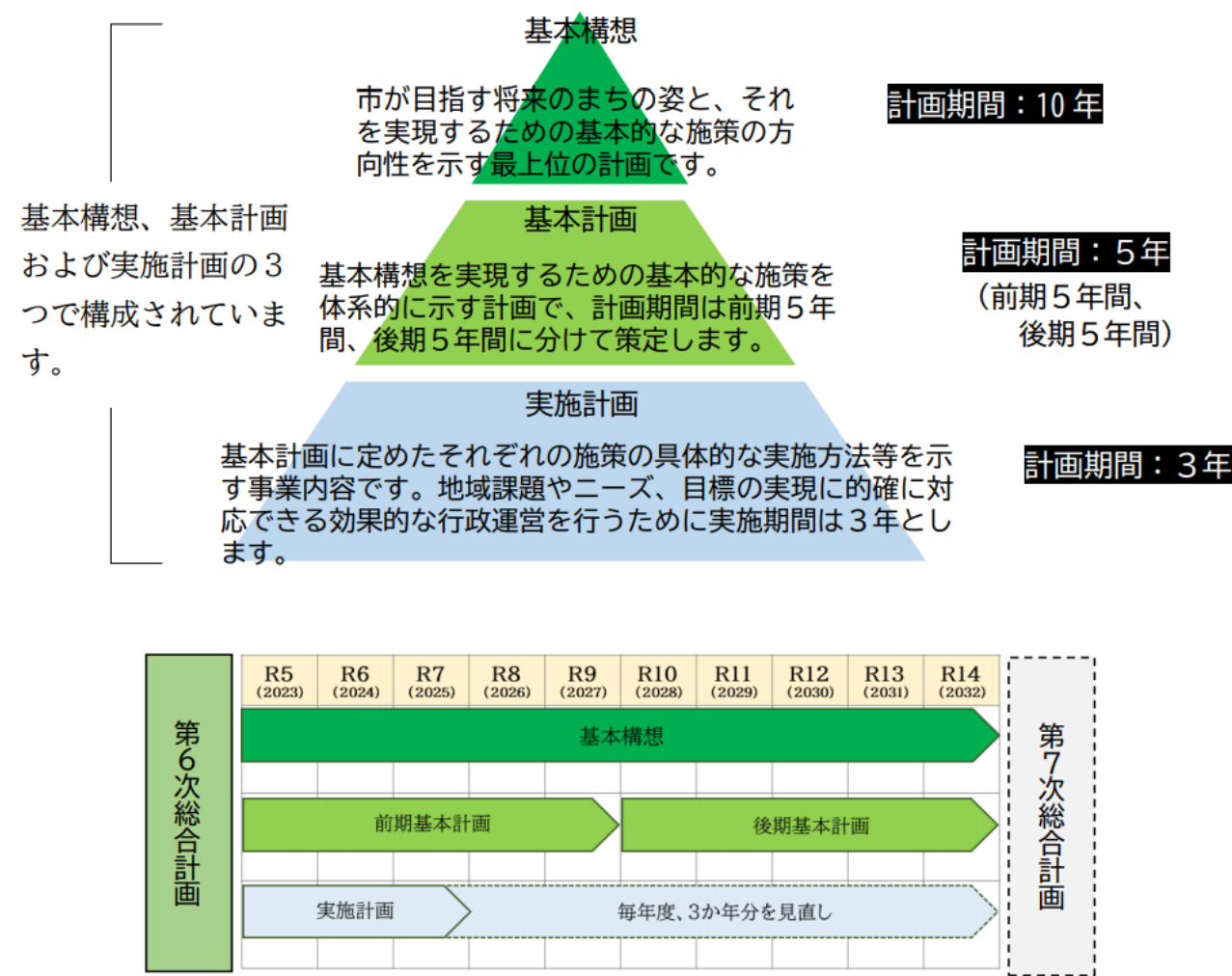
飯山市が目指す10年後の将来のまちの姿を描き、その実現に向けた方向性や目標を示したまちづくりの基本方針であり、市の最上位に位置付けている計画です。

これまでの10年間では、北陸新幹線飯山駅開業を契機に、子どもから高齢者まで住みやすく、安心やゆとりが実感できる「自然と共生した新たな価値創造の都市」を目指し、市民・団体・事業者・行政が一丸となって、まちづくりに取り組んできました。

これからの10年間は、飯山市のあらゆる地域資源の可能性を最大限に引き出し、活用すると共に、人々のライフスタイルの変化の変化を的確に捉えて、訪れたい・住みたい・暮らし続けたいと思われる「世界に誇れる里山」を目指し、一人ひとりが未来を考え知恵を出し合いながらまちづくりに取り組んでいきます。

本計画の計画期間は、令和5(2023)年度から令和14(2032)年度までの10年間です。計画策定後は具体的な事業の取組を着実に推進するため、PDCA「計画(Plan)」、「実行(Do)」、「評価(Check)」、「改善(action)」のマネジメントサイクルに基づき定期的に具体的取組の進捗状況を把握し、その取組を評価・検証していきます。

【飯山市第6次総合計画のイメージ】



2 基本構想について

飯山市が目指す10年後の将来のまちの姿は・・・

「飯山郷創～世界にひらく 里山の未来～」です。

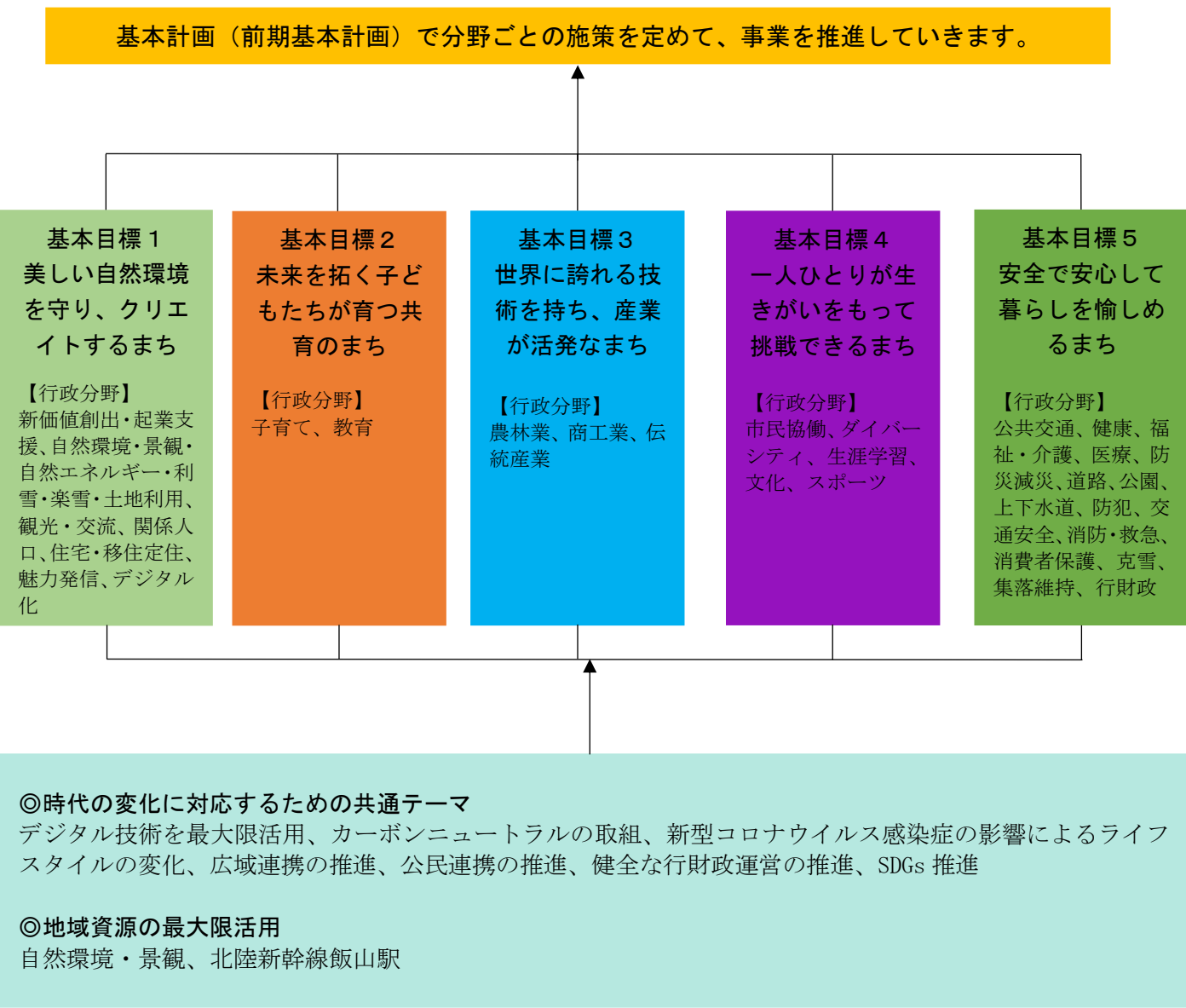
○飯山郷創…現在、時代の大きな転換期を迎え、変化を求められています。皆で知恵を出し合い、質の高い地域資源を活用して魅力的な郷を創ります。

○世界にひらく…世界に飯山市を誇りある郷として発信します。また、多様性を認め合い「訪れたい」、「住みたい」、「暮らし続けたい」と思う人を増加させ、交流と定住の促進に繋がります。

○里山の未来…一人ひとりが里山の価値を見つけ出し、この里山の未来を作り出す「クリエイティブな里山」を目指します。

10年後の「将来のまちの姿」の実現を目指すため、各行政分野のありたい姿を5つの基本目標として定めています。

【基本目標について】



3 前期基本計画について

前期基本計画期間は、令和 5 (2023) 年度から令和 9 (2027) 年度までの 5 年間です。

○時代の変化に対応するための共通テーマ

将来のまちの姿の実現に向けて、様々な施策を推進するに当たり、時代の変化に対応するための共通テーマを 7 つ掲げて取り組んでいきます。

① デジタル技術を最大限活用

デジタル技術は様々な課題を解決するための鍵となります。また、新たな付加価値の創出につながることが期待できます。今後は、デジタルの力を最大限活用して、更なる発展を目指します。

② カーボンニュートラルの取組

2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の実現に向けて、令和 12 (2030) 年度までに市全体の温室効果ガス排出量を平成 22 (2010) 年度比で 62 %減を目指し、地域の特性等を活かした取組を行います。

③ 新型コロナウイルス感染症の影響によるライフスタイルの変化への対応

新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の日常生活や価値観が変化しました。多様なライフスタイルのニーズに対応するための取組を行うと共に、地域資源を磨き魅力を広く発信し、住む場所として「選ばれる地域」になることを目指します。

④ 広域連携の推進

必要な行政サービスが適切に提供できるように、近隣自治体等と連携を図ります。

⑤ 公民連携の推進

効率的・効果的に市民ニーズに対応していくため、行政と民間事業者等との連携により、民間事業者等のアイデアやノウハウを最大限活用した公共サービスを推進します。

⑥ 健全な行財政運営の推進

社会保障関連経費や老朽化する公共施設とインフラ資産の維持・更新等に係る経費が増加していく中でも市民ニーズに対応する必要があります。そこで、これまでの取組および手法を見直し、限られた人材・財源を活用し健全な行財政運営を推進します。

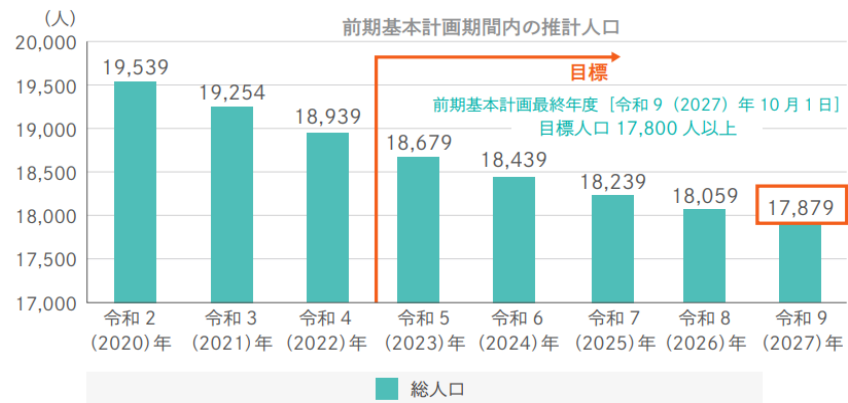
⑦ SDGs の推進

SDGs の視点を踏まえて、市民・団体・事業者・行政等まちづくりを担う全ての関係者が問題意識を共有して取り組んでいくことで持続可能な社会実現を目指します。

○前期基本計画期間内の目標人口（社会動態、自然動態含む）

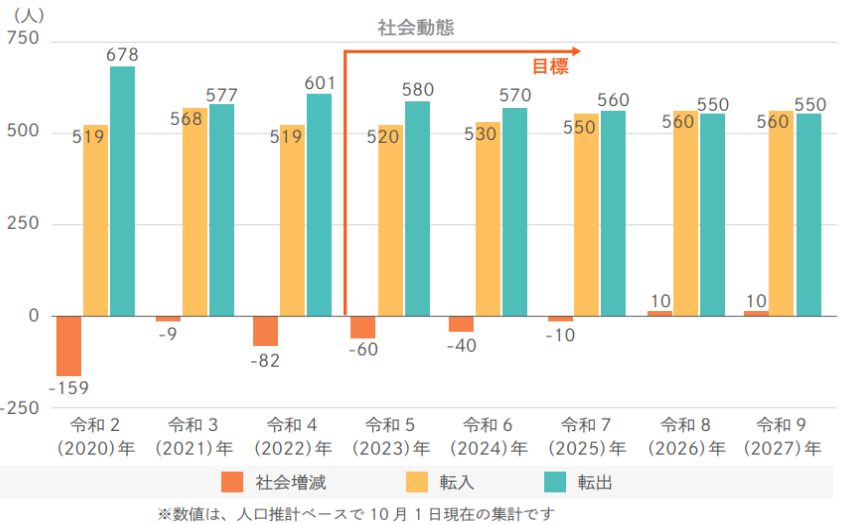
【前期基本計画期間内の目標人口】

移住定住施策の推進、出生率の改善など社会増や自然増に関する取組により、前期基本計画の最終年度の目標人口 17,800 人以上を目指します。



【社会動態の目標人口】

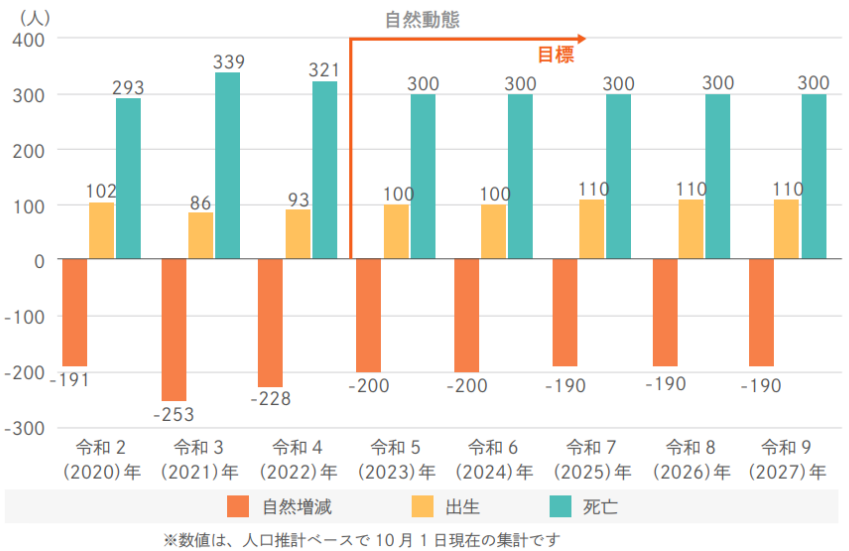
移住定住施策など人口対策をはじめとしたさまざまな施策の推進により、令和 8 (2026) 年に、社会増に転じることを目指します。



※数値は、人口推計ベースで 10 月 1 日現在の集計です

【自然動態の目標人口】

妊娠、出産から子育てまで切れ目のない支援等により、出生者数の増加を目指します。



※数値は、人口推計ベースで 10 月 1 日現在の集計です

4 総合計画前期基本計画の施策体系について

基本目標における各行政分野と施策

【基本目標】	【行政分野】	【施 策】
基本目標 1 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち	新価値創出・起業支援	新産業創出・起業支援 ★1-1、★1-4 産業間連携、付加価値創出 ★1-1、★1-4 自然との共生、山河や多様な生物の保全 景観・環境保全
	自然環境・景観・自然エネルギー・利雪・楽雪・土地利用	脱炭素の地域づくり ★1-1 利雪、楽雪 ★1-1 循環型の地域づくり 環境学習、環境保全活動の推進 地域特性を活かした市土利用
	観光・交流・関係人口	広域観光の推進 魅力ある観光プログラムの構築 ★1-1 観光資源の磨き上げ 多様な交流・関係人口創出 ★1-2
	住宅・移住定住	移住定住の推進 ★1-2
	魅力発信	地域住民への広報 ★2-1 情報発信の充実
	デジタル化	デジタル技術を活用した市民・来訪者サービスの構築 ★1-4、★2-1 デジタルインフラ整備 ★2-1
	子育て	魅力ある保育サービスの推進 ★1-3 子育て世代支援 ★1-3
	教育	生き抜く力を育むための教育 ★1-3 公正で質の高い学力の保障と自分のために必要な資質を磨く教育 新たな時代に対応できる力を磨く教育 ★1-3 飯山を担うためのふるさと教育 共生社会が実現するための教育 地域・社会に支えられ、子どもが飯山を誇りに思う生涯学習・生涯スポーツ
基本目標 2 未来を拓く子どもたちが育つ共育のまち	農林業	地域資源を活かした農林業の付加価値の向上 ★1-1 担い手の確保や組織の育成、農地利用の集積 農林業施設、生産基盤等の整備、農村振興
	商工業	産業空間・商業基盤の充実 ★1-1 工業基盤の充実と活用 多様な働き方の推進
	伝統産業	伝統産業の振興と技術を活かしたイノベーションの推進 ★1-1 伝統産業の担い手の確保・育成
基本目標 3 世界に誇れる技術を持ち、産業が活発なまち		
基本目標 4 一人ひとりが生きがいをもって挑戦できるまち	市民協働・ダイバーシティ	誰もが活躍できる場づくり 多様性を認め合う地域づくり 人権意識の啓発活動
	生涯学習	学びと生きがいがづくり ★2-2、★2-3 魅力ある図書館づくり
	文化	歴史・文化の保存、伝承と活用 芸術文化活動の推進
	スポーツ	スポーツ活動の推進 スポーツ施設の魅力化
基本目標 5 安全で安心して暮らしを愉しめるまち	公共交通	効率的な公共交通システムの構築 ★1-4 北陸新幹線飯山駅を中心とした二次交通網の充実 ★1-4
	健康	特定健康診査等による疾病予防、介護予防 ★1-4 多様な健康ニーズへの対応
	福祉・介護	地域福祉の推進 ★1-4 高齢者福祉・介護サービス等の推進 ★1-4 障がい者（児）福祉の推進 ★1-4
	医療	地域中核医療機関の維持 地域医療の推進 ★1-4
	防災減災	防災減災対策の推進 ★1-4 自主防災力の向上 ★1-4
	道路	道路ネットワークの充実 道路環境の維持・向上
	公園	魅力ある公園づくり 安全な公園施設の維持
	上下水道	上下水道の安定供給 下水道の適正管理
	防犯・交通安全	防犯対策の推進 交通安全の推進
	消防・救急	消防体制の強化 救急体制の強化
	消費者保護	消費者保護の推進
	克雪	生活道路等の除雪 冬の暮らしの安心・安全確保 ★1-4
	集落維持	持続可能な集落づくり ★1-4
	行財政	効率的で質の高い行政運営 ★1-4 健全な財政運営 ★1-4 広域連携の推進

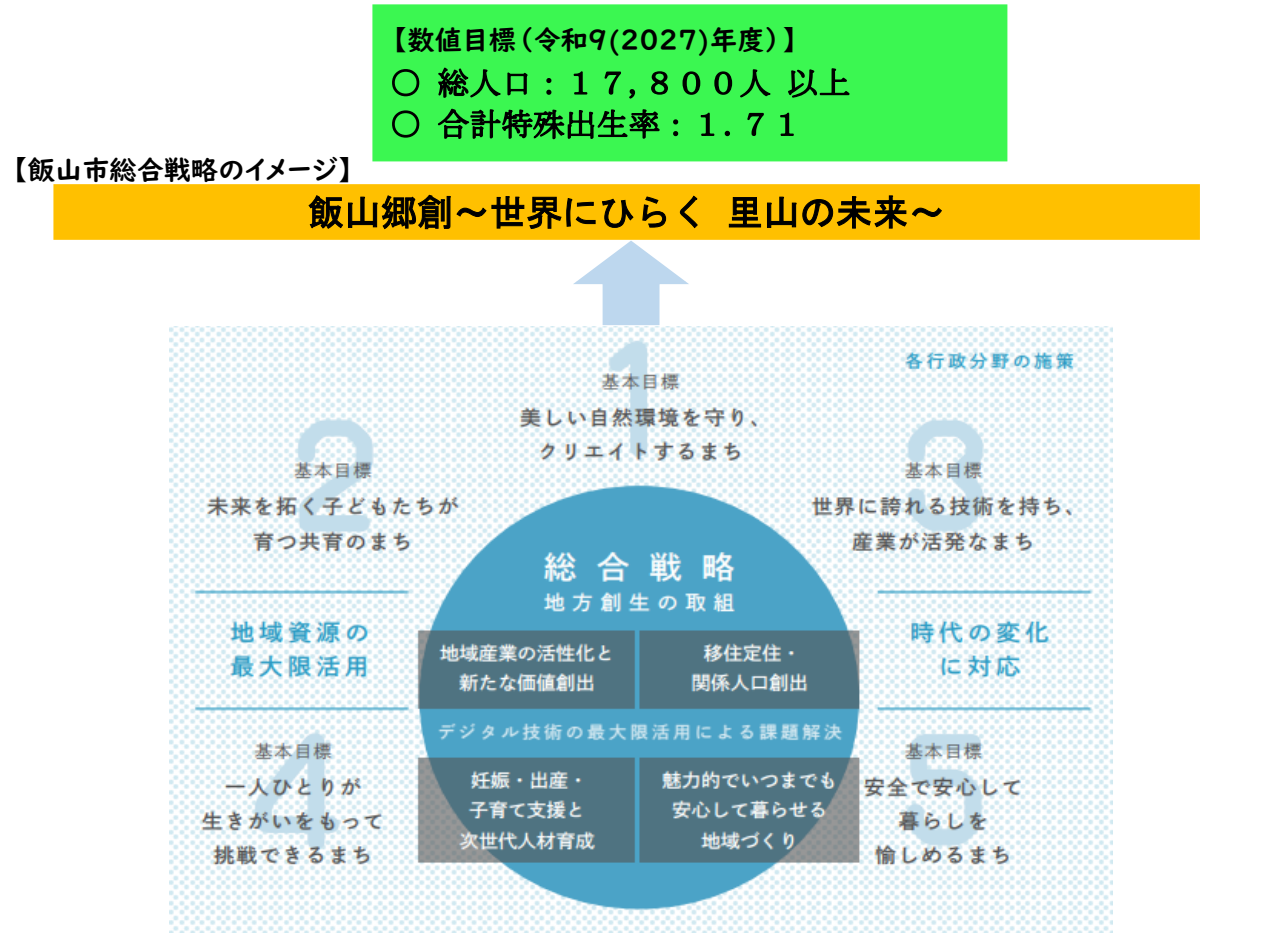
★：飯山市総合戦略に関連する施策

5 総合戦略とは

人口減少・超高齢化という社会に直面する大きな課題に対して、国が一体となって事業を取組み、各自治体がそれぞれの特徴を活かし、自律的で持続的な社会を創出することを目指すために策定した計画のことです。

新型コロナウイルス感染症による影響やデジタル技術の急速な進化に伴い、テレワークの普及や地方移住への関心が高まるなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化しています。このような状況下において、国では、令和5(2023)年度から5か年の新たな総合戦略「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。

飯山市においても飯山市第6次総合計画に掲げた施策と地方創生の取組を一体的に進めるため、総合戦略と総合計画を統合させ、10年後の将来のまちの姿「飯山郷創～世界にひらく 里山の未来～」の実現に向けて、国の戦略を踏まえて、デジタル技術を最大限に活用しながら、行政分野横断的に取組を推進する「飯山市総合戦略」として、戦略と取組の方向性を定めました。



6 飯山市総合戦略の施策体系について

総合戦略における各戦略と施策

※デジタル技術を最大限活用しながら、行政分野横断的に地方創生の取組を推進します。

【戦 略】	【施 策】
戦略 1 デジタル技術の最大限活用による課題解決	1-1 地域産業の活性化と新たな価値創出
	1-2 移住定住・関係人口創出
	1-3 妊娠・出産・子育て支援と次世代人材育成
	1-4 魅力的でいつまでも安心して暮らせる地域づくり
戦略 2 総合戦略を支えるデジタル基盤整備	2-1 デジタルインフラ整備
	2-2 デジタル人材の確保・育成
	2-3 誰一人取り残さないための取組